

農業科 科目「フラワーデザイン」学習指導案

平成 16 年 9 月 7 日

2 年 A 組 70-71 人 18 名

(男子 1 名 女子 17 名)

群馬県立藤岡北高等学校 飯島 直子

単元名 栽培した草花の活用

1 単元目標

栽培した草花に対する知識・理解を深め、栽培した草花の形態・特徴を生かしたアレンジメントについて考えることができるとともに、作品製作に生かせる技術を身に付けさせる。さらに、発表会を通して他者の草花の扱い方、活用方法について共有しあい、知識・理解を深める。

2 単元の評価規準

関心・意欲・態度	草花に関心をもち、栽培した草花を観察し、アレンジメントに積極的に取り入れようとしている。他の生徒の作品の花材の扱い方・活用方法に興味・関心を持っている。 (観察法)
思考・判断	栽培した草花の形態を把握し、作品作りを行うことができる。 (ワークシート・作品法・観察法)
技能・表現	草花の形態・特徴を生かし作品に表現することができる。 (ワークシート・作品法・観察法)
知識・理解	草花の栽培技術・花の特徴・形態等について理解しているとともに、他の作品を参考に花材の活用・扱い方について理解している。 (ワークシート・作品法・観察法)

3 指導計画

- (1)草花発表会(2時間)
- (2)デザイン画を考える(2時間)
- (3)ドライフラワーアレンジメントの作製(2時間)・・・本時
- (4)作品発表会(2時間)

本時の学習指導

1 主 題 ドライフラワーアレンジメント～

2 目 標

デザイン画をもとに、栽培した草花の形態・特徴を生かしたアレンジメント作製ができる技術を身に付けさせるとともに、作品に使用しなかったドライフラワーの効果的な活用について考えることのできる態度を養う。

3 本時の評価規準

思考・判断	デザイン画に基づき、草花の形態・特徴、全体のバランスを考えなが 目的、花材に応じた作品製作を合理的に判断できるとともに、余った 花材の活用について考えることができる。 (ワークシート・作品法・観察法)
技能・表現	デザイン画をもとに、草花の形態・特徴を生かし、全体のバランスを 考えた作品を製作することができる。 (ワークシート・作品法・観察法)

4 指導的配慮事項

作品を作ることに集中するのではなく、いかに栽培した草花を作品に生かすことができるかについて考えさせる。そのうえで余った花材の活用方法についても考えさせる。

5 準備

デザイン画、ドライフラワー、はさみ、グルーガン、新聞紙、ワークシート、筆記用具

6 展開

	学習内容()と学習活動()	時間	指導上の留意点	評価規準の具体的状況	評価方法等
導入	アレンジメントの構想 デザイン画を確認する。 栽培収穫した草花を選ぶ。	10	自分のデザインに あった草花の形態、 色を確認し選べる よう助言する。	栽培した草花を生かした デザインを考えることが できる。〔思考・判断〕	ワークシート 観察法
展 開	栽培収穫した草花を活 用したアレンジメント 作製 デザイン画に基づき、 草花の色、作品のイメ ージに合ったラッピング を行い、アレンジメ ントの下地を作る。 ラッピング用紙を選ぶ。	70	ラッピング用紙、 リボン等の使用に よる下地作りは花 の色、作品のイメ ージにできるだけ 近くなるよう考え ながら行うよう指 示する。 ラッピング用紙は 1枚だけでなく作 品のイメージに近 づくよう、何枚使 っても良いことを 伝える。	作品のイメージ、使用す る草花にあったラッピ ング用紙やリボンを選 ぶことができる。 〔思考・判断〕	観察法 作品法
	リボンを選ぶ。		使用する草花、ラ ッピング用紙のこ とを考えて、リボ ンの色、太さ等を 選べるよう支援す る。		
	デザイン画に基づき、 栽培収穫した花の形態 を確認しながら作品作 りを行う。		デザインしたイメ ージと栽培収穫し た草花のイメージ、 形態がうまくまと まらない場合には、 別の視点からの活 用方法やドライフ ラワーの扱いにつ いて助言を行う。	デザイン画をもとに、ド ライフラワーの形態・色 を確認しながら自分 のイメージにあったア レンジを行うことが できる。 〔技能・表現〕	観察法
草花の処理・扱い方		草花をむやみにカ ットせずに作品上 においてイメージ しながら製作でき るよう助言する。	草花を大切に扱い、適 切な処理を行うことが できる。 〔技能・表現〕	観察法 作品法	

	<p>グルーガンの扱い方</p> <p>全体のバランスを考える</p> <p>余った花材の活用 余った花材を確認し、 どのように活用するか 考える。</p>	<p>必要以上にグルー ガンを使い作品に 影響しないよう指 示する。また、グ ルーガンもデザイ ンの役割を持って いることを伝える。</p> <p>草花の特徴や色使 いが作品の中で生 かされているか確 認させる。</p> <p>作品に使わなかっ たものは捨てるの ではなく、別の方 法で活用できるこ とを助言する。</p>	<p>草花の形態・特徴を生か し、全体のバランスを考 え作品に表現すること ができる。〔技能・表現〕</p> <p>栽培した草花を大切に扱 う態度、余った花材の活 用について考えること ができる。〔思考・判断〕</p>	<p>作品法</p> <p>観察法</p>
ま と め	<p>学習の振り返り 作品作りを通して、感 じたこと、学んだこと 等についてまとめる。</p>	<p>10 栽培から取り組む ことの意義につい て考えさせる。</p> <p>たねまきから始め るフラワーデザイ ン学習を、今後、 地域の方々に教え る機会があること を伝えたいうえで、 まとめさせる。</p>	<p>草花の活用方法について 考えることができる。 〔思考・判断〕</p>	<p>ワークシート</p>